朝霞市は 男女平等を進めています

「固定観念を覆す＝私らしく生きる」

第一線で活躍する朝霞市出身のアーティストであり、「第12回さいたま輝き荻野吟子賞」の受賞者でもある、高橋理子さんにお話を伺いました。

裁縫をする祖母と母を見て育ったことから、「ファッションデザイナーになりたい」という気持ちを小学生の頃から持つようになりました。新座総合技術高等学校で服飾の基礎を身に付け、オリジナルの生地で服を作りたいと、東京藝術大学で染織について学びました。フランスで活動をしていた頃に日本の文化である着物のすばらしさについて説かれたことが転機となり、それまでの「ただ素敵な服を作りたい」という思いが、「着物の価値や意義について発信したい」という思いに変わりました。

着物の伝統を継承し守る職人は男性社会であり、初めのうちは女性であることや、今までにない斬新なデザインであることから門前払いの日々でした。それからは、相手と対等に渡り合えるように、一心不乱に勉強し続けることで、さまざまな方からご協力いただき荻野吟子賞を頂けるまでになりました。私は良くも悪くも完璧主義で、常に自信がないからこそ、探求するし頑張れる。「私らしい」作品をつくるために、どこまでやっても満足することはないと思います。

振り返ると、「女の子らしくしなさい」「勉強しなさい」と両親から言われたことは一度もありません。女の子だから赤いランドセルを持つことに疑問を持っていたし、自由な家庭環境の中で、いつも自分で考え判断し行動してきました。固定観念を打ち破らなければ、本当のことは見えません。「着物」「円」「直線」という限られた枠の中で追求した作品で、「当たり前」とされることについて人々が深く考えるきっかけを作っていきたいと思っています。

昨年出産を経験し、仕事のパートナーでもある夫とともに協力しながら子育てをしています。仕事と子育ての両立に悩む方は多いですが、誰もが働きたいときに働くことができる世の中になればと思います。

子どもたちには、固定観念に捉われることなく、与えられた環境の中で精一杯頑張ってみることから個々の能力を見出し、夢に向かって歩んでほしい。

最後になりますが、性別ではなく、人として認め合える社会の実現を強く願います。

〈プロフィール〉

たかはしひろこ　1977年生まれ、朝霞市出身。高橋理子株式会社代表。円と直線のみで構成された図柄により、独自の活動を展開するアーティスト。着物を表現媒体とした創作活動のほか、日本各地の工場や職人とものづくりを行い、その作品は海外においても高く評価されている。

問／それいゆぷらざ（女性センター）　☎463-2697

情報BOX ご案内

JICA シニア海外ボランティア　インドネシア活動報告（後編）

TABUNKA KYOSEI ASAKA

問い合わせ／地域づくり支援課　☎048-463-2645　✉tiiki_sien@city.asaka.lg.jp

今回の多文化共生コラムは、12月号に続き、JICA（独立行政法人 国際交流機構）のシニア海外ボランティアとして、インドネシアで活動している髙野さんからの活動報告をご紹介します。

Selamat pagi「おはようございます」インドネシアの西ジャワ州スカブミ市で錦鯉の品質向上のお手伝いをしている髙野昌和（膝折町在住）です。後編では、スカブミ市の人々の交通手段を紹介します。

最も一般的なのがオートバイで、通学や通勤、買い物と大活躍。日本では考えられませんが、大人の３人乗りや一家5人乗りということも…。無法地帯のようですが、彼らなりのルールがあり、余り交通事故を見ません。もちろん、自動車に乗っている人もいますが、多くの市民は日本メーカーのオートバイが足となっています。オートバイをタクシーとして使うのが『Ojek』です。町中に運転手が待機していて、オートバイの後部席にお客を乗せて目的地まで送ってくれます。首都ジャカルタでは『GOJek』と呼んで、スマホのアプリで近くのGOJekを予約・運賃を取り決めるサービスが大流行です。女性客には汚れ防止用の布キャップ、マスクの無料サービスもあります。渋滞が酷い都会では車の間をすり抜けて走るGOJekが重宝されています。

スカブミ市内の公共交通機関といえるのが乗り合いのミニバス『Angkota』。日本の軽貨物車の後部をベンチシートに改造して、多いと十数人が詰め込まれます。車体の色と番号で市内の循環ルートが決められていて、どこでも乗り降りできます。手を挙げて乗り込み、Kiri（左の意味）と言って止めて降車。スカブミでの料金は大人が4,000ルピア（約40円）、高校生までは2,000ルピア（約20円）です。市内に20路線以上あり、乗り継ぐと安く移動が出来ます。他に市内で見かけるのが『Delman（馬車）』と、『Becak』と呼ばれるオートバイの前を座席に改造した３輪タクシーです。

＊＊＊

私のインドネシアでの活動も、今年の８月までとなります。朝霞市の皆さんも、機会があれば、ぜひスカブミ市を訪れてみてください。Junpa lagi「ではまた!!」

★以上、スカブミでの活動報告でした★